

滋賀県本部

2023県本部ユニオンセミナー



事業内容

単組活動の活性化、次代の担い手育成を目的とした労働学校基礎編
重点支援県本部時代から再開させた継続事業。県本部第7次組織強化計画のもと、単組活動の活性化、次代の担い手育成を目的としている。特に単組活動の活性化については、コロナ禍で停滞した組合活動を少しでも回復させようと、今回は本部大会でもおなじみの南雲聡樹さんを講師として迎え、交流会を含め、改めて組合活動の手法や重要性を認識してもらおうセミナーとした。また、2日目の県本部提起では「組合の基礎知識」を中心に参加者とのやり取りを中心に進め、兵庫県本部の作成した団体交渉動画を投影し、他県本部の実施状況を参考にしながら意見を求めるなど参加型セミナーを狙いとした。

7月21日（金）～22日（土）

実施場所

守山駅前コミュニティホール

タイムテーブル

1日目

- 14時00分 開校式・主催者あいさつ
自治労滋賀県本部 執行委員長 佐賀 春樹
- 14時15分 講演『知って楽しい！組合活動～何でもあります、労働組合～』
講師：南雲 聡樹さん（イベント・映像プロデューサー）
- 15時40分 休憩
- 15時50分 ワークショップ
- 16時50分 休憩
- 17時00分 発表と感想・まとめ
- 17時30分 1日目終了

2日目

- 9時30分 講演『組合活動のい・ろ・は』
講師：自治労滋賀県本部 書記長 工藤 博司
- 10時20分 休憩
- 10時30分 模擬交渉動画視聴
- 11時10分 意見交換
- 11時50分 まとめ・終了

参加者数

20人 青年層5人 女性4人（青年層2人）

青年・女性の事業の関わり方

参加者は募集の段階で各単組より1人は青年層や女性とし、経験の浅い組合員でもわかりやすい内容に心がけたが、参加者層としては伸びなかった。

事業に携わった青年・女性からの意見

- 大変勉強になる学習会だった。自分の単組でも、もっとできることがあるのではないかと可能性を感じられた。単組でも、もっとこのような県本部が行うセミナーなどに参加を促していきたい。
- 人数参加をもう少し増やすべきでは。

- せっかくの2日間、各単組五役から1人とかもっとシゲキを広げられる会になれば、もっと滋賀県が熱くなる。
- もっと人数が多いと良いと思う。特に若い世代。
- 全単組へ声をかけてもバラツキがあり、少し人数が少ないと感じた。もっと交流できるような楽しい部分があれば魅力的だと感じた（自分の単組もなかなか出席者を集められなかった）。
- 組合がそもそもわかっていないが、これを機に意識高く取り組めそう。

成果と課題

良かった点	悪かった点
例年、本セミナーを企画・実践しているが、今回は交流を含め、楽しいセミナーとなった。	参加者が少ない。